



美祢市消防庁舎・消防防災センター視察（令和 3 年 4 月 22 日）

主な内容

○ 令和3年度予算の概要	2 ～ 3
○ 審議内容報告	3 ～ 4
○ 一般質問と答弁	5 ～ 14
○ 新庁舎等建設特別委員会（中間報告）	15
○ 6月定例会の日程・編集後記	16

令和3年第1回(3月)美祢市議会定例会

会期 3月3日～3月24日(22日間)

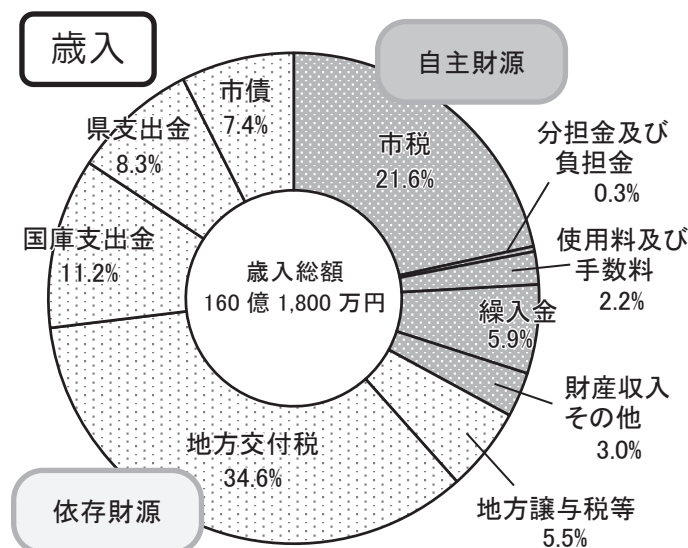
第1回定例会は3月3日に開会し、令和3年度一般会計当初予算や条例改正案など、市長提出議案計36件と、美祢市議会会議規則及び委員会条例の一部改正案の計2件を議員提出し、審議しました。

議案の審議結果については4ページをご覧ください。

令和3年度予算の概要

一般会計 予算額160億1,800万円(前年度比▲4.1%)

☞一般会計とは？教育、福祉、土木、衛生など、行政の基本的な事業に関する会計です。



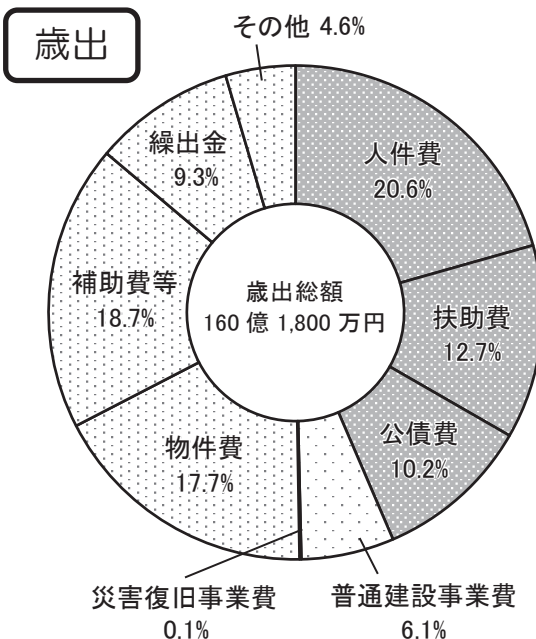
歳入における市税などの自主財源は52億7,164万5千円(32.9%)で、寄附金等が減少していますが、貸付金元利収入等の増加などにより、昨年度より3.4%増加しています。

一方、地方交付税などの依存財源は、107億4,635万5千円(67.1%)で、地方交付税や市債等の減少により、昨年度より7.4%の減となっており、歳入全体では、昨年度より6億8,600万円(4.1%)減少しています。

歳出では、人件費、扶助費、公債費等の義務的経費の占める割合が全体の43.5%と高くなっています。この割合が低いほど財政の自由度が増し、投資的事業や市民福祉の向上に充てる予算が確保できます。

令和3年度予算では、前年度と比較すると人件費が増加していますが、これは一般職員の退職手当や会計年度任用職員人件費の増が主な要因です。

また、消防庁舎・消防防災センター整備事業の完了により、普通建設事業費が前年度に比べ57.3%減少しています。



令和3年度事業の一部を紹介します

○みね健幸百寿プロジェクト推進事業 1,526万円

「市民の健康寿命の延伸」という目指すべき目的を達成するため、様々な方向から可能性を探るプロジェクトを展開します。

○公設塾設置運営事業 1,127万5千円・美祢魅力発掘隊設置事業（公設塾） 1,462万8千円

学校教育では対応困難なキャリア教育や課題解決学習を中心とした、子ども達の好奇心を引き出したり、新しいことに挑戦する力を育てたりするような取組を行うことで、自ら考え未来を生き抜く力を育むような本市独自の地方創生に資する公設塾を設置・運営します。

○美東地域情報通信基盤整備推進事業 6,370万2千円

市内の情報格差解消に向け、美東地域の情報通信基盤整備を目的として、山口ケーブルビジョン(株)の光ケーブル（FTTH）整備を補助します。

○プレミアム付商品券発行事業 4,983万7千円

地域経済の活性化のため、美祢市商工会で実施する商品券発行事業を支援します。

特別会計 予算額72億42万2千円（前年度比0.8%増）

💡特別会計とは？

特定の事業を行う場合に、特定の収入（保険料など）を財源に、一般会計と区別して管理する会計です。

区 分	予 算 額	前年度比
国民健康保険事業特別会計	32 億 584 万 8 千円	▲ 0.4%
環境衛生事業特別会計	1 億 179 万円	385.6%
住宅資金貸付事業特別会計	98 万 4 千円	▲ 23.1%
介護保険事業特別会計	33 億 9,962 万 2 千円	0.0%
後期高齢者医療事業特別会計	4 億 9,217 万 8 千円	▲ 1.6%



●●●● 審議内容報告 ●●●●

○令和2年度美祢市一般会計補正予算

補正予算総額 ▲ 3 億 4,107 万 5 千円

主な内容

- ふるさと美祢応援寄附金給付事業
(▲ 5,705 万 1 千円)
- 生活バス路線維持事業補助金
(1,257 万円)
- やまぐち米次年度生産応援事業補助金
(1,706 万 1 千円)
- 有害鳥獣捕獲奨励事業補助金
(1,083 万円)
- そのほか、令和2年度事業の執行見込みによる増減
- 令和2年度美祢市一般会計補正予算

問 ふるさと美祢応援寄附金が大幅に減少していますが、この理由についてお伺いします。

答 他の自治体と比べ、返礼品の種類が少なく魅力が低下していることや、商品によって安定供給が難しくなっていることが要因と考えています。

また、広告宣伝が不十分であったため、継続寄附者や新規寄附者も大幅に減少しています。

○令和3年度美祢市水道事業会計予算

問 上野・秋吉地区水道統合整備事業における秋芳南部地域の軟水化事業の工事期間延長について、本件は合併時からの懸案事項であり、これ以上の工事期間の延長は到底受け入れられるものではありません。

答 地元の強い要望と財政の安定化という2つの命題を踏まえつつ、事業の前倒しなど最大限努力し、早期の完成を目指します。

○美祢市敬老祝金支給条例の一部改正について

問 80歳と88歳の方には商品券で支給されるようですが、100歳の方と同じように現金支給にされてはいかがですか。

答 令和3年度において状況を見定め、今後判断したいと思います。

■3月定例会議決結果

●は全会一致で可決(同意)、○は賛成多数で可決

令和2年度補正予算(9件)

- 一般会計補正予算(第13号)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 環境衛生事業特別会計補正予算(第2号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
- 水道事業会計補正予算(第1号)
- 病院等事業会計補正予算(第5号)
- 観光事業会計補正予算(第4号)
- 一般会計補正予算(第14号)

令和3年度予算(10件)

- 一般会計予算
- 国民健康保険事業特別会計予算
- 環境衛生事業特別会計予算
- 住宅資金貸付事業特別会計予算
- 介護保険事業特別会計予算
- 後期高齢者医療事業特別会計予算
- 水道事業会計予算
- 下水道事業会計予算
- 病院等事業会計予算
- 観光事業会計予算

条 例(14件)

- 美祢市行政組織条例の一部改正
- 美祢市固定資産評価審査委員会条例等の一部改正
- 美祢市公共施設あり方検討委員会条例の廃止
- 美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議設置条例の一部改正

- 美祢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 美祢市がんばる企業応援資金融資制度利子補給基金条例の制定
- 美祢市温水プールの設置及び管理に関する条例の制定
- 美祢市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 美祢市敬老祝金支給条例の一部改正
- 美祢市国民健康保険条例の一部改正
- 美祢市国民健康保険税条例の一部改正
- 美祢市介護保険条例の一部改正
- 美祢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正
- 美祢市消防本部及び消防署設置条例の一部改正

その他(3件)

- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更
- 普通財産の貸付け(旧本郷小学校校舎)
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

議員提出議案(2件)

- 美祢市議会会議規則の一部改正
- 美祢市議会委員会条例の一部改正



(無所属)

な の とも かず
猶野 智和 議員

1 市外病院への通院補助について

問 市外病院へ通院し、多額の交通費負担を強いられている市民の負担軽減のための補助等の状況についてお尋ねします。

答 現在、本市では、市外の医療機関に通院される場合において、通院にかかる交通費等を助成する制度はありません。

一方、他市では、利用要件を満たした高齢者、障害者、または介護が必要な方を対象とした通院のタクシー初乗り料金の補助を行っているところもあるようです。

問 市外への通院手段の確保と費用の補助について、具体的なお考えがありますか。

答 交通手段がなく、市外医療機関への通院に支障がある場合、受診されている医療機関の地域連携室にご相談いただくことで、市立2病院での受診に切り替えられるケースもあります。

また、交通費の経済的支援については、まずは実態の調査が必要であると考えます。調査後、支援の範囲、支援方法等について具体的に検討してまいりたいと考えています。

2 市民に対する秋芳洞観覧等の利用促進策について

問 市民が1年に1度くらいは秋芳洞に入洞する仕掛けをつくり、コロナ禍で停滞しているにぎわいを取り戻すきっかけになればいいと思っています。

市民にもっと秋芳洞等に訪れていただくため、今後実施する新たな施策等についてお尋ねします。

答 市民の皆様に秋芳洞の魅力を伝えていく必要があると考えています。

そのためにも、市民の皆様やボランティア団体等への優待券の配布について検討したいと思います。

さらには、リピート客を増やすことが非常に重要になっていますので、市民の皆様を対象に年間パスポートを先行的に発行することについても併せて検討を進めたいと考えています。

市民お一人お一人がセールスマンになって、美祢市の魅力を市外・県外へと発信していただければと思います。

3 携帯電話通信網を利用したシステム整備により広がる可能性について

問 新たに導入される防災アプリについてお尋ねします。

答 防災アプリは、携帯端末を活用したシステムです。今までの安全・安心メールと比較して、文字だけではなく、画像や音声で効果的に情報を配信できるほか、グループ配信機能など、必要な人に必要な情報を確実に届けられるシステムです。

1日でも早く整備し、市民の皆様の安全・安心に貢献できる体制整備に努めたいと考えています。

問 自治体アプリ等の双方向システム整備により広がる可能性についてお尋ねします。

答 自治体アプリは、市と市民の皆様をつなぐ双方向の情報発信が可能です。

このたび本市が整備する予定の防災アプリについても、市民から被災状況を写真で送付していただくことで、現場の状況を市が把握できる機能を有しています。

市民の皆様からのアプローチが可能で、ダイレクトな声を聞くことができるという仕組みは、今後も本市の様々な活動や取組で幅広く活用できる非常に有効なものであり、防災面以外でも積極的に活用の検討を行ってまいります。



(みらい)

ふじ い とし みち
藤井 敏通 議員

1

美祢型小中一貫教育(分離型)について

問 令和3年度から実施を予定されている美祢型小中一貫教育とはどのようなものか、お尋ねします。

答 令和3年度から、美東地域の3小学校及び1中学校で先行実施します。取組の成果や課題をほかの学校と共有し、小中一貫教育を推進してまいります。

本市が取り組む小中一貫教育は、これまでの小中学校の枠組みや施設はそのまま、小学校と中学校の全教職員が、教育目標や目指す子ども像を共有し、義務教育9年間を通して連続的に系統的な一貫した教育活動を実施するものです。

問 国の中央教育審議会からも、小学5・6年生の教科担任制を積極的に導入すべきとの答申があります。

美祢型小中一貫教育では、どのような形態で教科担任制を導入されるのでしょうか。

答 令和3年度は、まず英語の授業で小学校高学年の教科担任制を一部実施したいと考えています。

中学校教員による教科担任制や小学校教員の授業交換による教科担任制にも積極的に取り組んでまいります。

これらの取組のノウハウを基に、令和4年度

以降、時間数や教科を増やし充実させていく予定です。

問 美東町全体の小学校児童数の予測では、令和2年度現在188名ですが、令和7年度には113名と、1学年当たり平均すると20名を切ってしまいます。子どもの成長にとって、最低でも1クラス20名は必要と考えます。

また、教科担任制の導入を考えると、中高一貫教育は分離型ではなく一体型が望ましいと考えますが、いかがでしょうか。

答 本市では、平成26年度に各学校が学校運営協議会を設置し、令和元年には美祢型地域連携教育推進協議会を立ち上げ、社会と学校と家庭が一体となって子どもの教育に取り組んでいます。

小中一貫教育は、教職員の皆さん方の組織力をさらに生かした上で、「主体的で対話的で深い学び」という指導要領に基づいた学びをつくっていくことが重要です。

また、学校が地域の心のよりどころであることを考えると、一番容易に子どもたちの教育を変革していける分離型が、まず望ましいと考えています。

これを契機に、美祢型の教育をどのように取り組んでいけばよいか、市民の皆様全員の力によって議論していただきたいと思います。

提案 美東町の大田地区には、中学校・小学校・保育所が隣接しています。

小中一貫だけでなく、0歳から15年間の一貫教育ができれば素晴らしいと思います。

0歳から中学卒業までの一貫教育のもと、安心して子育てできる教育のまちを、地域・先生・行政三位一体でつくり、市外から児童・生徒も来てくれるような新しい学校をつくっていきませんか。



淳美小学校



綾木小学校



大田小学校



美東中学校



(新国会)
たかぎ のりお
高木 法生 議員

1

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 ワクチンの接種順位についてお伺いします。

答 国が示している優先順位は下記のとおりとなっており、本市においてもこれに従い接種する予定です。

- ①新型コロナウイルス感染者に直接医療を提供する医療従事者
- ②令和3年度に65歳以上に達する高齢者
- ③基礎疾患を有する方や、高齢者施設等において利用者に直接接する職員
- ④16歳以上の一般の方

問 ワクチン接種に携わる医療従事者の確保についてお伺いします。

答 接種後の副反応の対応及び緊急搬送された患者に対する医療従事者の確保など、集団接種の体制整備には多くの検討事項等があります。

65歳以上の高齢者の接種につきましては、主にかかりつけ医等の市内医療機関での個別接種による接種体制を中核として調整を急いでいます。

しかし、できるだけ多くの市民の皆様にはワクチン接種の機会を提供するため、集団接種も視野に入れた体制づくりに向けて調整しているところです。

問 市の相談窓口の設置についてお伺いします。

答 新型コロナウイルスワクチンの情報や接種時期、接種券など、様々な相談や問い合わせに対応するため、相談窓口を開設する予定です。開設時期については、準備ができ次第お知らせします。

(現在、開設済みです。TEL 0837-52-5670)

2 保育行政について

問 公立保育園の再編状況について、お伺いします。

答 保育園の再編については、平成26年度に美祢市保育園再編計画の策定を目指し、再編案の説明をしまいましたが、十分な理解を得ることができず、策定には至っていません。

しかし、その間も、再編等について個別に地元との協議を進め、平成29年4月1日現在10園あった公立保育園は、令和3年4月1日現在7園に再編しています。

問 老朽化した大田保育園の建て替えについてお伺いします。

答 大田保育園は、築後45年を経過した建物で老朽化が著しく、これまで補修等を行い対処してきましたが、建て替えを視野に入れた本格的な対策が必要であると考えています。

建て替えについては、再編計画ともつながってきますので、施設の状況を把握した上で、子ども・子育て会議において議論を深めていただき、最終的には市長が責任をもって判断したいと思います。

3 保育行政について

問 みね健幸百寿プロジェクトの取組についてお伺いします。

答 このプロジェクトは、山口県立大学との包括的連携により、学校や地域等での健康教育や医療、介護といった科学データを活用します。これによるデータ分析、解析結果に基づく具体的な施策を実施していくことで、健康寿命の延伸へ繋げていくことを目的としています。

具体的には、がん教育や疾病危険度通知ソフトの開発による保健指導への有効利用など、各施策を包括的に連携させることで健康寿命の延伸を実現させ、年齢や性別にかかわらず、共に支えあい、健康な生活を送ることができるようづくりの実現を目指しています。



(公明党)

おかやま
岡山

たかし
隆 議員

1

円滑な新型コロナウイルスワクチン接種の体制の構築に関して

問

現在、本市においても接種体制の準備を進められています。

ワクチン接種状況を迅速に把握することができるワクチン接種記録システム体制の確立について、お尋ねします。

答

国が示すワクチン接種記録システムは、マイナンバーを利用して個人のワクチン接種状況を把握するもので、5月頃に稼働させる予定です。

記録は、接種を行う医療機関等により、タブレット端末のカメラで接種情報を読み取り、インターネット経由でシステムに自動入力します。

接種券を紛失した場合や住所地以外で接種された方、転入者等の接種履歴の確認、接種券の再発行手続きや接種済み証明書の発行もでき、ワクチン接種の円滑化を図ることができる重要なシステムです。

2

希望を感じられる出産祝金10万円の創設に関して

問

現在、国から出産育児一時金42万円が支給されていますが、出産費用は約50万円必要で、若い夫婦には負担が大きくなっています。

そこで、夢と希望を提供する出産祝金10万円を支給できないか、お尋ねします。

答

厳しい財政状況の中、限られた財源を有効活用するため、子育て支援全体を検討する少子化対策チームを立ち上げ、より効果的な事業について優先順位をつけながら検討していきます。

3

健康づくりのための環境整備に関して

問

私たちの健康をおびやかす最大の理由は生活習慣病であり、健康寿命を延ばすには、食事・運動等が必要です。

各地域にグラウンド整備をすることによる、健康・体力・絆づくりについて、お伺いします。

答

健康寿命の延伸を視野に入れた場合、運動、仲間づくりの場としてのグラウンド整備等は必要です。しかしながら、グラウンド等の利用者数は、ここ数年横ばいの状況にあります。

本市の状況を鑑みた上で、積極的に市民の皆さんが利用できるように、提供状況を考えながら進めていきます。

4

未来に希望をもたらす「ふるさと美祿応援寄附金事業」の改革に関して

問

ふるさと納税は、全国に本市の情報発信を行うとともに、返礼品を通じて本市のファンづくりと地場産業の振興を図ります。

わくわくするような魅力ある返礼品を開発し、グレードアップさせることが大切だと思いますが、取組についてお伺いします。

答

各自治体が返礼品の質や数量を充実させることで、寄附者の選択肢が広がる中、本市の返礼品の魅力や競争力は低下しつつあります。

返礼品の供給が追いつかず、寄附者の方に返礼品の発送を待っていただくこともあります。

六次産業振興推進室やJA、地域の生産者と連携した魅力ある返礼品の開発や掘り起こしをし、連携都市圏域の中心市である山口市と共通返礼品の造成など、競争力があり魅力的な返礼品の開発に取組み、財源確保に努めます。





(無所属)

たはら よしひろ
田原 義寛 議員

1

山口大学秋吉台アカデミックセンターについて

問 山口大学秋吉台アカデミックセンターが設置されてから4年が経過しました。成果についてお尋ねします。

答 本市を対象とした研究・教育の推進では、令和元年度までに延べ4件の調査・研究が行われ、令和2年度では9件の応募がありました。研究成果は学術雑誌等で公表し、国際的に広く発信されるとともに、一般の方向けにも分かりやすく紹介するチラシを作成されるなど、広く周知されています。

また、美祢青嶺高校の授業サポート、カルスト台地をテーマとした国際シンポジウム及びワークショップ、化石と岩石をテーマとした講演等を行われています。

さらには、Mine秋吉台ジオパークのパンフレット作成や、紙芝居「黒いダイヤ」の監修、幼児用絵本の作成等を通じ、ユネスコ世界ジオパーク申請に向けて国際論文を発表するなど着実な成果を上げていただいています。

問 秋吉台科学博物館内の山口大学活動拠点の利用状況についてお尋ねします。

答 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用はほとんどありませんでした。

今後、施設の有効利用という観点から、本市と山口大学の双方が施設の在り方についても検討したいと考えています。



山口大学秋吉台アカデミックセンター

2

災害時情報伝達手段整備基本方針について

問 新たな災害時情報伝達手段の運用開始時期についてお尋ねします。

答 防災アプリは、一部の機能を6月頃から、すべての機能の運用開始を台風シーズン前の9月頃と見込んでいます。

また、屋外拡声器及び戸別受信機は、市内全域に設備等の工事を行う必要があるため、令和5年1月頃の運用開始を見込んでいます。

問 防災アプリを活用した避難行動要支援者の情報共有についてお尋ねします。

答 高齢者や身体の不自由な方など、要支援者に対する避難誘導に際しては、要支援者の情報の共有など、特に綿密な連携が必要です。

防災アプリは、画像や音声で効果的に情報発信できる機能や、グループ配信機能もありますので、これらの機能を最大限活用し、要支援者の適切な避難誘導につなげたいと考えます。

3

美祢市の子育て広場について

問 子育て広場の開催場所と利用実績についてお尋ねします。

答 美祢地域は「きららクラブ」を吉則保育園で、美東・秋芳地域は「カンガルーム」を美東保健福祉センターと秋芳桂花小学校で開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、秋芳桂花小学校での開催は断念しました。

令和元年度の延べ利用者数は、きららクラブが784名、カンガルームが1,590名でした。

問 令和3年度の子育て広場開催場所についてお尋ねします。

答 現時点では、吉則保育園及び美東保健福祉センターでの開催を予定しています。

秋芳地域は、場所の選定を含め、可能であれば、令和3年度途中からでも開催できるよう調整しているところです。



(純政会)

つばい やすお
坪井 康男 議員

1

地域循環共生圏構築検討事業の進捗状況について

問

令和2年9月以降のこの事業の進捗状況について、お伺いします。

答

この事業は、カルスト森林組合・山口県美祢農林水産事務所・美祢市の関係者で組織する美祢市木質バイオマス利用推進協議会に委託して実施することにしており、関係者間で協議を進めてまいりました。

当面のバイオマス材の供給可能量と同程度の需要が見込め、バイオマスボイラー設置のスペースが確保できる景清洞トロン温泉へのバイオマスボイラー導入を検討しました。

一方、バイオマスエネルギー供給の観点から、地域内での生産、加工、供給体制構築の可能性が高いチップの生産供給システムを選択しました。

このチップの生産拠点は市有地であり、かつ、トラックスケールや重機の共用が可能なカルストクリーンセンター隣接地への整備を前提に検討中です。

チップ工場等の事業については、令和4年、5年で整備することとしています。

2

森林整備事業の進捗状況について

問

森林環境税、森林環境譲与税を活用した市内民有林の整備事業の進捗状況について、お伺いします。

答

ソフト面では、美東地区の9,928ヘクタールを対象に、これまでの森林所有者が自ら管理できない森林や森林所有者が不明な森林等を集積・集約するための事前調査業務を実施しました。

ハード面では、多目的作業道開設事業補助金として、現時点で3路線の作業道開設の補助金を交付する予定です。

次に、人材育成事業については、新規就業者が林業を体験する事業として、現在、若手作業員が伐木の実践中です。また、林業担い手育成対策事業補助金として、新規に就業された林業者に対し、家賃補助、資格取得に係る経費の補助、林業用機械等購入に係る経費の補助を行っており、資格取得には5名、林業用機械等購入においては7名に対して補助しています。

3

美祢農林開発(株)の経営統合問題について

問

美祢農林開発(株)は、平成19年に設立以来、毎年3千万円以上の公金を継続投入したにもかかわらず、実質的な債務超過の状態が続いています。

美祢市の財政負担軽減の観点から、経営統合等早急な対策が必要であると考えますが、執行部の考えをお伺いします。

答

経営統合の問題と新たな刑務作業の提供問題は別問題であるとの指摘も十分承知しています。

まずは国とも協議を重ね、その後、可能であれば経営統合に向けて進めてまいりたいと考えています。

4

ふるさと納税の状況について

問

ふるさと美祢応援寄附金の額が、令和元年度が5,928万円であったのに対し、令和2年度は2,920万円と半減しています。

その原因と今後の対策についてお伺いします。

答

ふるさと納税は、返礼品の魅力が大きな力を持っているのは確かです。

本来、この制度の意義は3つあり、「納税者の選択」、「ふるさとの大切さ」、「自治意識の進化」ということが掲げられています。

従って、今後返礼品の魅力度向上だけでなく、寄附金の使途を明確にし、それに外部の方から共感を得て、プロジェクトの原資として使用させていただくようにしたいと考えます。



(無所属)
すぎやま たけし
杉山 武志 議員

1 健康寿命の延伸対策について

問 みね健幸百寿プロジェクトの目的は何ですか。

答 主たる目的は、主体的に、何歳になられても生き生きとお暮らしできる環境を整備していくということです。

問 期待できる成果についてお尋ねします。

答 市が持っている国保、介護等のデータ、フィールド調査による生活関連データ、市立2病院が持っているデータをベースに、健康長寿と健康障害要因を分析します。そこから美祢市の特性を分析し、その結果を疾病危険度通知ソフトや特定保健指導に活用してまいります。

次に、がん教育を進めることで、がん検診の向上を図ります。

また、市職員が実際に県立大学に行って学び、データ処理ができる人材育成を図ります。

これらの活動を通して健康寿命の延伸を図ってまいります。

問 健康で生き生きとした暮らしをしていただきたいと願いながら、一方では、敬老祝金の減額が予定されています。目の前にある敬老祝金を高齢者から取り上げるのは、市民の幸せからしても一貫性がないのではないのでしょうか。

答 敬老祝金制度の開始から約半世紀の間、支給内容を充実させてきましたが、その財源の全てを一般財源で賄っています。

制度が開始された昭和46年当時の65歳以上の人口は約2,500人で高齢化率は9%でしたが、今や65歳以上の人口は1万人以上、高齢化率も42.9%に達しています。

したがって、この制度の存続はもう難しいという判断をさせていただきました。

該当者の方には大変御迷惑をおかけしますが、何とぞ御理解いただきますようお願い申し上げます。

2 令和3年度予算に見る農業支援施策について

問 新年度予算に組み込まれた課題と政策についてお尋ねします。

答 本市の農業者の平均年齢は71歳を超えており、高齢化が進んでいます。加えて、担い手不足や世代交代の遅延、さらには法人構成員においても高齢化が進んでいます。

また、圃場や農業用施設の老朽化による効率性の悪化、鳥獣被害による所得への影響と営農意欲の減退、病害虫による影響や新型コロナウイルスなど外的要因による農作物への悪影響等が挙げられます。

将来にわたる持続性を維持する営農に支障を来すことが問題と考えています。

これらを少しでも解決していくため、市内農林産物の需要拡大の取組、人材の確保・育成、生産体制の強化、生産基盤の整備と資源の有効活用を図り、本市の基幹産業である農林業の振興に取り組んでまいります。

3 衛生センター整備事業について

問 衛生センター整備事業のための発注支援業務は何をするのでしょうか。

答 美祢市衛生センターは、稼働後33年が経過し、施設設備の老朽化が進み、現有施設の延命化等の対策を検討しなければならない時が来ていると考えています。

発注支援業務は、今回の基幹的改良事業による工事発注のための仕様書作成を行う業務であり、令和3年度においても引き続き本業務を行うこととしております。

なお、整備工事の完了は令和6年度末を目指しています。



(日本共産党)
やま した やす のり
山下 安憲 議員

1

受講生目線で見えた公設塾の具体的な内容について

問 公設塾では、どのような授業が展開されるのでしょうか。

答 令和3年度設置を予定している公設塾は、中学生を対象とし、教科指導を行う「知のトビラ」、社会に対する興味関心を引き出す「好奇心のトビラ」、地域をフィールドに探求学習を行う「挑戦のトビラ」の3つの授業を行います。

問 どのような方を講師に予定されていますか。

答 国の地域おこし協力隊制度を活用し、塾スタッフを3名、学校や地域と塾をつなぐコーディネーター1名を任用したいと考えています。

問 開設場所や時間についてお伺いします。

答 美祢駅周辺で週5日程度、平日は16時半から19時半、土曜日は13時半から17時の開設を想定しています。通塾が難しい子どもには、オンラインで受講可能にしたいと考えています。

2

新型コロナウイルス感染症に係る今後の感染者対策について

問 ひとり親世帯や、日常的介助が必要な親と同居する世帯等の新型コロナウイルス感染者対策についてお伺いします。

答 それぞれのケースにおいて様々な状況があり、それぞれの希望もあることから、可能な限り日常生活に不便がないように、個々の状況に応じて県保健所において対応しているとのことです。

3

美祢市のまちづくりにおける空き店舗等の活用時の利便性について

問 空き店舗情報の見える化、店舗の短期契約や仮設テナントの確保等についてお伺いします。

答 現在、市では空き店舗の利活用のため、商工会や観光協会と連携し、創業や起業支援等を行っています。

今後、さらなる空き店舗の利活用を図るため、関係機関と連携し、情報発信について検討を進めてまいります。

4

プレミアム付商品券の課題と利用促進について

問 プレミアム付商品券における税の公平性についてお伺いします。

答 このたびの事業は、市がプレミアム率30%分等を補助して市商工会が実施主体となり、購入を希望される方に行き届くよう工夫を重ねて実施をしました。

多くの市民の皆様にご利用いただき、本市の商業の振興に寄与していると考えています。

問 当該商品券の取扱業種の制限についてお伺いします。

答 市商工会の会員であり、商品券取扱加盟店としての登録が第一条件となります。

医療機関等における商品券の取扱いにつきましては、一般的な栄養補助品を除き、原則、取扱対象外と認識しています。

5

指定管理者制度における本来の目的と美祢市の方向性について

問 本市の現状と方向性についてお伺いします。

答 本市では、現在26施設で導入しており、指定期間は原則3年または5年です。

施設利用者や地域住民の意向、また施設の利用状況等を踏まえ、指定の更新に当たっては、施設の在り方とともに、本制度による管理運営の適否を判断してまいります。

問 コロナ禍における指定管理者との協議についてお伺いします。

答 「感染拡大防止に向けた対応等により生じた施設における減収等については、協定書及び協議による」との総務省の方針に従い、適切な対応をしています。



(純政会)

あき えだ ひで とし
秋枝 秀稔 議員

1 結婚支援策の進捗状況について

問 子育て支援や小中一貫教育などの施策展開はありますが、昨年度の美祢市の出生数87人と、肝心の子どもが極めて少なくなっています。

結婚の希望は高い水準にあると政府資料にあり、国も出産育児の前にまず結婚をとという結婚対策を掲げています。

世話人の減少、人々のつながりの弱体化、過疎化による出会いの場の減少、職場と自宅だけの往復などの大きな社会変化があり、行政に未婚者対策を強力に推進する時代の要請があると考えますが、いかがでしょうか。

答 令和2年度に移住・定住促進結婚支援室を設け、ハッピーウエディング支援事業や婚活支援事業に加え、結婚新生活支援事業を実施しています。

支援施策の必要性は強く感じており、検討してまいります。

問 全ての都道府県と市区町村の半数以上が何らかの形で結婚支援事業を実施しており、大きな成果を上げている自治体も現にあります。

行政だけでなく、市民と一体となった事業にしないと施策効果が出ないと思います。

そのためには、昔でいう仲人さんのような世話人組織、市民を巻き込んだ組織が必要と考えますが、いかがでしょうか。

答 市民の協力がいただけるかが大事なポイントであり、成功事例も参考に積極的に事業化してまいります。

2 風力発電設置のメリットとデメリットについて

問 秋芳町北部に大規模な天井山風力発電事業(仮称)が計画されています。事業者から説明は受けておられますか。

答 正副市長、正副議長同席のもと、事業者からのあいさつと事業概要の説明を受けています。

風力発電機を最大17基設置し、出力は最大6万3,000キロワットという計画です。

市は環境保全の見地からのみ意見を述べることができますので、市の環境審議会に諮った上で、意見を述べたいと考えています。

問 市税の増加、森林・土地からの収入、道路利用が可能であれば利便化、工事による地元経済への一時的な波及効果がメリットとして考えられます。

デメリットとしては、水源への影響、世界ジオパークへの影響、低周波などの騒音、風車の倒壊や道路災害、耐用年数後の撤去の問題が考えられます。

一度受け入れると、次から次に建設されて、美祢市が電力工場になりそうな感があります。また、市内で賛成派と反対派ができて禍根が残ることも十分に考えられるのではないのでしょうか。

答 国は脱炭素社会の実現を目指していますが、風力発電事業を推進するためには、地元の皆様をはじめ、市民の理解なく進めることはできないと考えています。

市としては、市民の御意見をしっかりと把握し、騒音や水環境等の課題が円満に解決されるか事業者を確認しながら、今後の動向をしっかりと注視してまいりたいと考えています。

2 災害家屋の事後処理について

問 膨大な被災ごみ処理について、水害は状況によっては、かなり行政の支援が充実していますが、火災の場合の支援はごみ処理費の減額ぐらいです。

危険家屋の処理にも補助制度があり、火災の場合も相応の補助制度を考えるべきではないのでしょうか。

答 1日も早い復旧に可能な限り対応していきます。火災により発生したごみの処理費補助がある自治体もあり検討したいと思います。



(日本共産党)
みよし むつこ 議員

1 大田事業用地の利活用について

問 該当地は、旧美祢高等学校分校の跡地ですが、葬祭場に活用できないかお尋ねします。

答 本市の葬祭場の立地や人口規模、地域拠点の在り方等も踏まえ、今後のまちづくりの中で、総合的に検討したいと考えています。



旧美祢高等学校分校跡地（美東町大田）

2 持続可能な農業政策の実践について

問 国連は「家族農業の10年」として、食料安全保障確保と貧困飢餓撲滅に大きな役割を果たしている家族農業の推進、知見の共有を求めています。家族農業は世界の流れです。

家族経営農家の支援についてお尋ねします。

答 持続可能な農業のためには、小規模家族農家の存在も不可欠であると考えています。

県事業で、経営所得安定対策、水田活用直接支払交付金、戦略作物助成と産地交付金、多面

的機能支払い、日本型直接支払事業などがあり、組織活動に参加していただきたいと考えています。

「はじめてみ〜ね農業応援事業」などの市の単独事業もあります。県、農協、美祢市農業再生協議会など各種団体と連携を図り、家族経営農家の所得の向上に努めたいと考えています。

問 減農薬と有機肥料の農産物の生産について、害虫が農薬の抵抗力をつけ、さらに強い農薬を使うということになると、農業者の健康被害が心配です。有機農産物は病害虫にも強く美味です。減農薬、有機肥料の傾向は世界的な流れです。お考えをお尋ねします。

答 有機農産物については、安全・安心な農産物、併せて有機農業に取り組むことによって、地域の環境をよくするなど利点も多く、関心も高いと思っています。

3 子育て世代の移住・定住で「選ばれる自治体」の施策について

問 「選ばれる自治体」で給食費の無償化も魅力です。いかがでしょうか。

答 試算すると、全体で7,500万円程度の市の負担が増加します。給食費無償化に係る国・県の財政措置がないことから、市単独の実施は困難と考えています。

問 子どもの医療費の完全無償化について、お尋ねします。

答 子ども医療費助成は、平成28年8月から、市民税所得割が13万6,700円を超えない世帯を対象に小学生の医療費自己負担を、また、平成30年8月からは、同じ所得制限内で対象を中学生にまで拡大し、市独自の助成事業として実施してきました。また、令和元年10月から小学生に係る所得制限を撤廃しています。

子育て支援・少子化対策チームを立ち上げ、一番効果的な事業を検証し判断したいと考えています。



新庁舎等建設特別委員会（中間報告）

新本庁舎整備については、令和2年11月末に基本設計が策定され、本年6月末に実施設計が完了する見込みです。現在、敷地内の記念樹移設等の先行工事に着手しており、11月頃から建設工事を開始する予定となっています。

新美東総合支所及び新秋芳総合支所整備については、令和3年1月に『みんなで力を合わせて、地域の子どもと文化を育てるコミュニティの拠り所』を方針とする基本設計が策定されました。

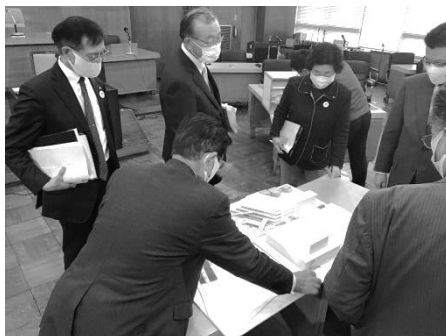
新美東総合支所は、総合支所・公民館・図書館を複合し、児童クラブも含め、現美東保健福祉センターを改修・増築する形で整備される予定です。

新秋芳総合支所は、総合支所・公民館・図書館を複合して秋芳体育館の解体跡地に整備し、既存施設は解体または書庫等として活用する予定です。

また、合併推進債の適用期限が延長されたことや地元業者の受注機会の確保について要望書が提出されたこと等を受け、総合的に判断した結果、本庁舎と両総合支所の整備時期をずらすことについて確認しました。

今後のスケジュール（建設工事のみ抜粋）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本庁舎		5月 → 11月 先行工事（記念樹移設等）	11月 → 3月 建設工事		
美東総合支所	変更前	2月 → 3月 建設工事			
	変更後			9月 → 10月 建設工事	
秋芳総合支所	変更前	2月 → 3月 建設工事			
	変更後			9月 → 10月 建設工事	



特別委員会で提示された本庁舎完成模型

～表紙の説明～

令和3年3月25日に美祢市消防庁舎・消防防災センター本体の建設工事が完了し、4月22日には、議員を対象に視察が実施されました。

消防庁舎・消防防災センターは、旧大嶺高校解体跡地（敷地面積約9,502㎡）に整備され、建物の延べ床面積は約2,816㎡です。

建物内は、白を基調に、市のイメージカラーでもある緑、そして消防の赤がバランスよく配置されています。迅速で円滑な消防活動が行えるよう、隊員の動線も配慮されていました。

また、敷地内には、災害時の避難場所としての機能を有する防災公園が整備され、防災教育の拠点として市民の防災力の向上を図る計画とされています。



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

(6月2日(水) 議会運営委員会において日程を決定します)

日 程	時 間	内 容 (予 定)
6月9日(水)	10:00	本会議 (初日)
6月14日(月)	10:00	本会議 (一般質問)
6月15日(火)	10:00	本会議 (一般質問)
6月16日(水)	10:00	本会議 (一般質問予備日)
6月17日(木)	9:30	総務企業委員会
6月18日(金)	9:30	教育民生委員会
6月21日(月)	9:30	予算決算委員会
	予算決算委員会 終了後	新庁舎等建設特別委員会
6月28日(月)	10:00	本会議 (最終日)

編集後記

最近、若い日本人アスリートの活躍が目立っています。松山英樹（ゴルフ）マスターズ優勝、大谷翔平（野球）メジャーリーグでの二刀流の大活躍、大坂なおみ（テニス）全豪優勝など、本当に日本人として誇りに思います。

新人議員として1年が経ちました。コロナ禍で思うように議員としての活動が出来ない状況ではありますが、若いアスリートに負けずに、元気で明るい明日の美祢市を創るために頑張っていきたいと思っています。（藤井）

議会だより編集委員会

委員長	三好 睦子
副委員長	山中 佳子
委員	藤井 敏通
〃	岡村 隆
〃	田原 義寛
〃	山下 安憲
〃	石井 和幸